



球技大会

全力で楽しむ

球技大会サイコー

🕒AM 学年対抗
ソフトバレーボール

🏆1位：3年生
2位：2年生



ライフスキル

本学舎独自の科目「ライフスキル」の授業では、本学舎1年生の生徒達にどんなスキルが必要かを見極め、幅広いトピックを扱っています。

今回の授業では、同じニュースでも切り取り方によって印象が変わる面白さや怖さ、SNSが自分の好みを学習し、気付けば偏った意見の部屋に閉じ込められ自分の意見が世の中の正解だと思ってしまうエコーチェンバーの危険性について学びました。これらの危険性を知り、多角的に物事を捉える大切さや、「上手に疑ってみる」クリティカルシンキング（複眼的思考）を身に付けます。



部活動報告

カヌー一部入賞！

近畿高等学校カヌー選手権大会

- ・WC-1 本井 花歩（網野中）4位
- ・K-1 岡田 歩（久美浜中）6位
- ・K-2 岡田 歩
松田 歩大（久美浜中）4位

1艇でも多く、10月開催の青森国スポに出場できるよう日々精進いたします。
応援よろしくお願いします！



学校のリアル

言葉を通じて、自分の世界や可能性を一緒に広げよう！

こんにちは。進路指導部で主に進学を担当している石川隆亮です。今年度、初任者として久美浜学舎に赴任してきました。担当科目は論理・表現Ⅰや英語コミュニケーションⅡ、英語探究β、英語特講です。大学時代は英語教育を専攻し、特に「リテリング（re-telling）」という活動について研究して卒業論文を執筆しました。例えば、昔話の「桃太郎」のストーリーを誰かに伝えるとき、どのように話すでしょうか。きっと「むかしむかし…」とお話をそのまま音読するのではなく、複雑な設定は省いて、最も伝えたい部分を自分の言葉に変換して伝えるはず。このように、見聞きした内容を理解・要約し、自分の言葉に置き換えて話す（書く）ことを「リテリング」といいます。AIなどの先端技術が急速に発展している社会だからこそ、英語に限らず「自分の言葉で相手に伝える力」はますます大切になると感じています。これからどうぞよろしくお願いします！

👁️👁️
ココが面白い

私の授業では、最終的に英語を通して様々な分野の内容に触れ、それに対して自分の思いや考えを豊かに巡らせ、誰かと共有できる力を養ってほしいと考えています。そのために、まずは自分の手持ちの言葉を使って表現する「基礎力」を日々鍛えています。英語はただの暗記科目ではなく、世界中の面白い情報にアクセスし、自分の思いを届けるための「窓」です。言葉を通じて誰かと繋がり、自分の世界や可能性が広がるワクワク感を、ぜひ一緒に体感しましょう！

🕒PM 縦割りチーム対抗 ドッジボール

今年度は、体育祭が縦割りになります。午後からの球技大会では、縦割りを意識したチームを編成し、学年を超えて仲を深めました。この調子で体育祭も存分に楽しみます！



アグリサイエンス科通信

校内意見発表会

6月上旬に1～3年生のアグリサイエンス科の生徒全員が日頃の実習や将来についてなど、農業への熱い気持ちを語ってくれました。1年生は入学してからこれまでの農業活動について、2年生は課題研究が始まり今後挑戦したいことを、3年生は将来を見据えて、これまで体験し学んだことを発表しました。今回発表した農業への熱い思いを胸に、今後も誇りを持って農業高校生であることを満喫してください！



1年生コース体験

6月8日(食品コース)、10日(生産コース)に1年生のコース体験を行いました。生産コースではトマトの収穫・調製を、食品コースではマドレーヌ作りを体験しました。初めての体験をする生徒も多く、日々の実習と比べて少し緊張した様子でした。それぞれのコースを体験して、2年生から本格的に学びたいことをじっくり考え、自分のやりたいことに全力で取り組むことができるようコース選択をして欲しいと思います。

生産コース



食品コース



各コースの取組

生産コース



／ メロンの袋掛け ｝
1つ1つ丁寧に！おいしくなあれ！

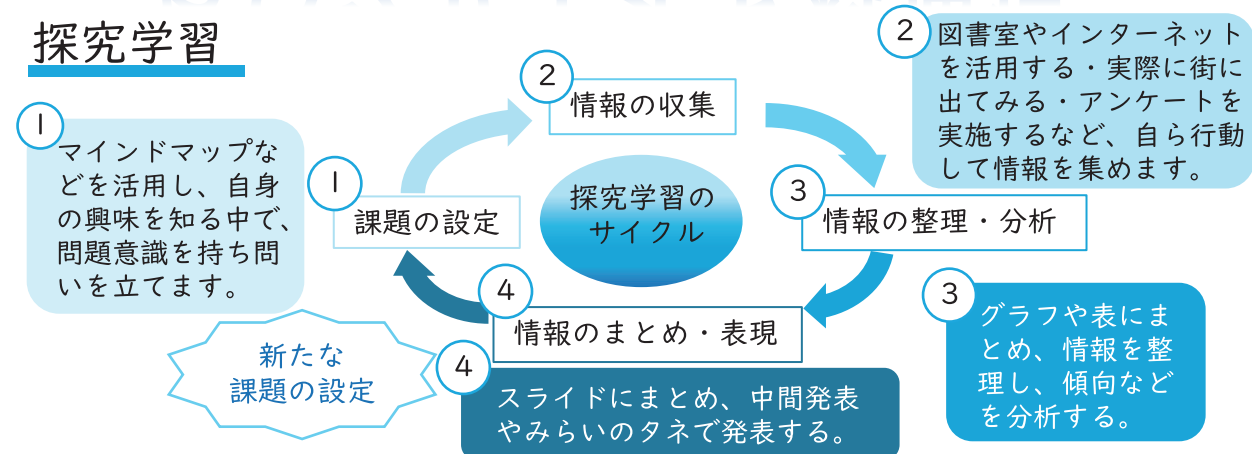
生産コースが栽培したトマトを使いました！
トマトソース作り

食品コース



みらいクリエイト科通信

探究学習



みらい探究Ⅰ

1年生の探究活動は、「言葉の定義を確認することの大切さを知ること」をテーマに、ポプラディアはてなシートの演習問題を通して百科事典での調べ方と文章の意味を想像、理解しながら読む大切さを学びました。その後、「職業調べ」を行いました。これは各自に与えられた仕事の小説を斜め読みしてその仕事のイメージをつかみ、その仕事に関する知識やイメージをマインドマップに表して見える化し、ポイントを整理して指定された項目についての仮説を立て、文献やインターネットで情報を集めて仕事の実態に迫り、それをまとめて発表します。



みらい探究Ⅱ

Bshop



2年生は地域探究をテーマとして取り組んでいます。網野町出身で、服飾業やホテル経営等で活躍されている株式会社Bshop代表取締役の森さんのお話を、網野学舎の企画経営科の生徒とともに網野学舎で聞かせていただきました。森さんはグローバルとローカルを合わせた造語グローカルの精神のもと、地域から世界へと経営を広げるなど、世界を舞台に活躍されています。かつて森さんが久しぶりに帰郷したときに、スーパーマーケットがどんどん減っていることから少子高齢化が進んでいることを実感されたとのことでした。

もっとリアルな地元の声を聞きたい！

京丹後市内の生徒が担当した場所を
クラス内でプレゼンテーション

選ばれた網野町・峰山町へ行って
地域の人にインタビュー

地域の困りごとや
素敵なお話を聞くことができた

得られた情報をもとに、今後の探究のテーマに結びつけていこう

